

暮らし、街、未来を創造します。 —Fine Steel Collaborative Solution—

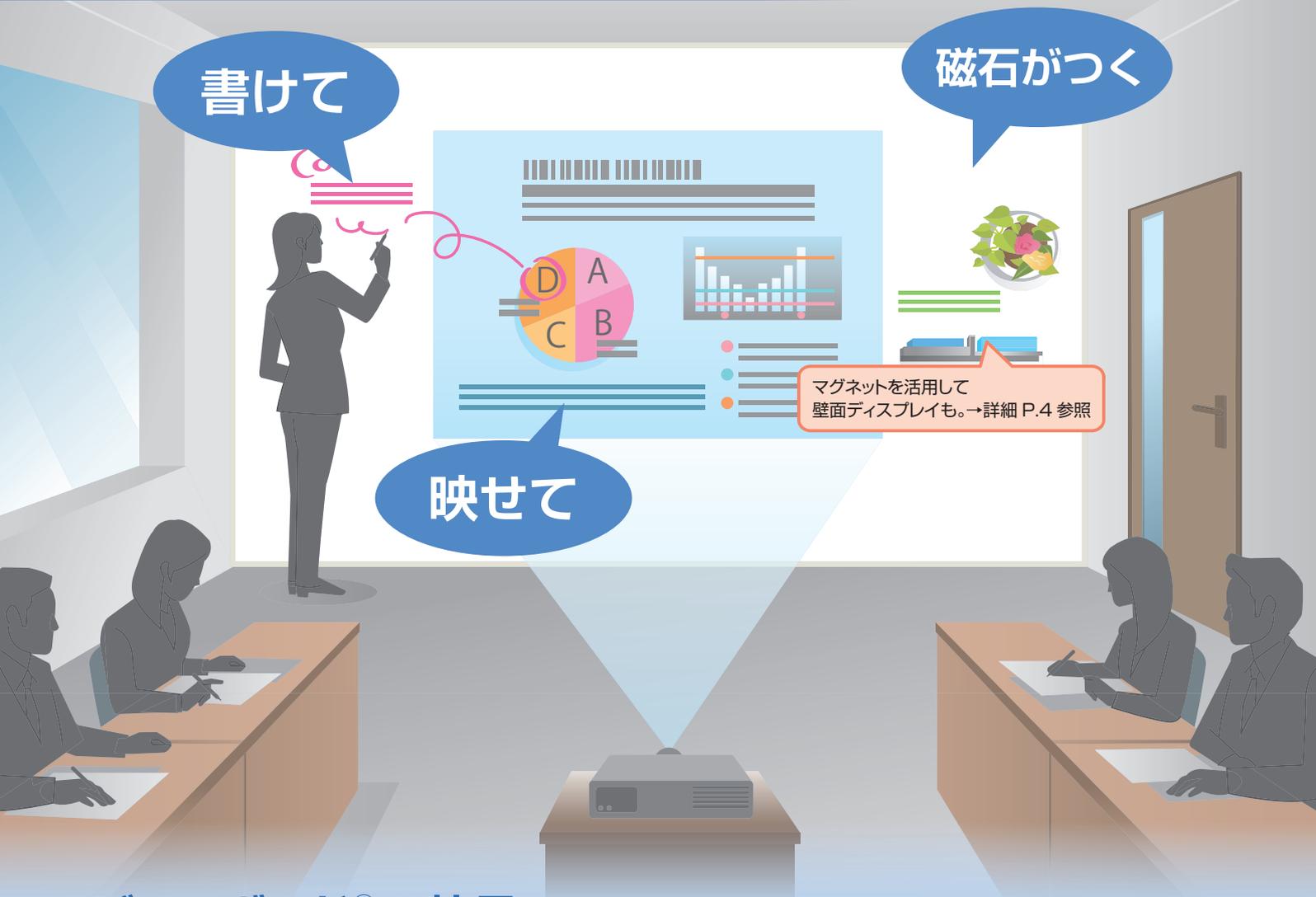
環境固形マーカー「キットパス®」適合ボード鋼板

# ビューボード®



\*「ビューボード」はJFE鋼板(株)の登録商標です。

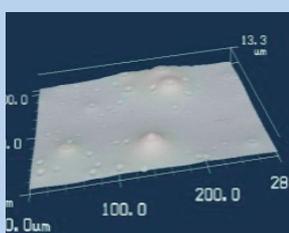
# 1つで3役のマルチボード



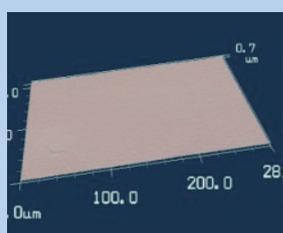
## ビューボード®の特長 (他のボード鋼板との違い)

- 1 マットで落ち着いた質感** → 詳細 P.5参照  
つるつるのホワイトボードに比べ、表面は凹凸がありマットながらザラザラではなく、落ち着いた質感です。
- 2 映写がキレイ!** → 詳細 P.4参照  
反射が目立たず、明るい部屋でも見やすい仕様になっています。
- 3 板面に粉が残らない** → 詳細 P.3参照  
筆記具にキットパス®を使用すると、書き消し時に粉が出ず、壁面がキレイな状態を保ちます。

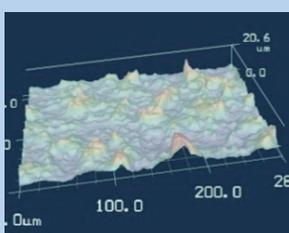
■ ホワイトボードや、黒板ボードとは表面形状が異なります。(詳細P.5参照)



● ビューボード

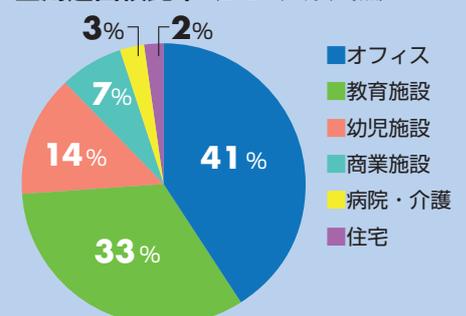


● JFE ホワイトボード



● JFE ボード(黒板)

■ 用途面積比率 (2021年3月末時点)



# 様々なコミュニケーションシーンに、ビューボード®

オフィスの会議室等・教育施設や住宅等、ビューボード®はさまざまな用途で活躍しています。

## オフィス

大画面での投影も可能。スペースを最大限に活用できます。



## 教育施設

「粉が出ない黒板」や「映写スクリーン」としても有効に活用されています。



黒のボードは緑と比較して視認性が高く、文字が見やすいです。

## 幼児施設

キットパス®を使って自由に壁にお絵かきすることで、情操教育にも繋がります。



## 商業施設

壁面のアクセントとして、意匠的に見せるのにも一役買っています。



粉が出ないのでメニューボードにも最適。

## 病院・介護施設

アクティビティ、コミュニケーションなどのツールとして、お使いいただけます。



## 住宅

お子様の情操教育やオープンディスプレイなどに壁面を有効にご活用できます。



# ビューボード®の、書けて・映せて・磁石がつく機能

■書き消しするなら… ビューボード®は「キットパス®」適合ボードとして開発しました。

環境固形マーカー、CEマーク(\*1)取得済

## キットパス®

(日本理化学工業株式会社製)



●より消去性に優れたキットパスビューシリーズ



### キットパス®の特長

#### 衛生的

書き消し時に粉やカスが出ません。空間を汚さず、衛生的です。

#### 経済的

揮発しないのでキャップいらす。ボードマーカーに比べ経済的です。

#### 書き味

しっとり・なめらか。クレヨンのような書き味です。

#### 安全

口紅等に使われるパラフィンが主成分。お子様にも安心してお使いいただけます。

#### 水拭き

専用イレイサーや布を水で濡らして消します。

#### Q. ホワイトボードマーカーとの相性は?

A. ビューボード®は、キットパスの使用を考慮し開発した商品の為、キットパスのご使用をお勧めします。

- ホワイトボードマーカーのご使用も可能ですが、ホワイトボード同様、消去時、板面や床面にマーカーのカスが付着し、汚れる可能性があります。その際は、水拭きや住宅用洗剤(\*2)等をご使用ください。
- マーカーの種類により消去性に違いがあるので、ご使用前に該当マーカーでご確認ください。

### 消すときは、水拭きで!



- イレイサーを水で濡らしてから、お使いください。



霧吹きで板面を濡らして消去することも可能です。

- イレイサーの布面が汚れたら、イレイサーを水洗いしてお使いください。
- 布面が汚れるとキレイに消去することができず、板面に汚れが広がる場合があります。
- 繰り返しのご使用で、板面の汚れが気になる場合は、住宅用洗剤(\*2)をご使用ください。

### 洗う手間を軽減するクリーナー BOX



クリーナー BOX イレイサー

イレイサーが汚れるたびに、水場へ洗いに行くのは手間がかかる!という場合、その場で洗浄できるクリーナーBOXもあります。



その場でイレイサーの水洗いが可能。



スリムタイプは壁に貼れる台と併せてご活用ください。

### ビューボード® カラーバリエーション

※全てのカラーに対して、キットパスをお使いいただけます。

\*その他のカラーは取り扱っておりません。

\*印刷物につき、実際の色とは多少異なる場合があります。



ホワイト



グリーン



ブラック

キットパスシリーズの商品などについての詳細は、日本理化学工業(株)までお問合せください。

TEL. 044-811-4121

URL. <https://www.rikagaku.co.jp/>

(\*1) 製品をEU加盟国へ輸出する際に安全基準条件(使用者・消費者の健康と安全及び共通利益の確保を守るための条件)を満たすことを証明するマークのこと。

(\*2) ポリオキシエチレンアルキルエーテル系の泡状クリーナーの洗剤をお勧めします。また、クリーナーのご使用後は必ず水拭きを行い、洗剤が板面に残らないようにしてください。

## ■映写時の特長 \*映写を行う場合はビューホワイトの板面をご使用ください。

### 光の反射が目立たない

ビューボード®はホワイトボードと比較して光沢を抑えているため、**光の反射が目立ちません。**(P.6参照)



ビューボード®は、照明の映り込みも目立ちません。

### 明るくても見やすい

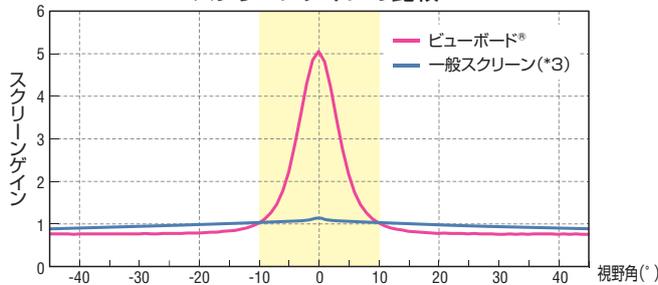
ビューボード®は、一般的なスクリーンと比較し、**明るい部屋内でも視認性が高くなります。**  
(下グラフ参照)



電子黒板としての使用例

映写性能は「スクリーンゲイン」という指標で表します。

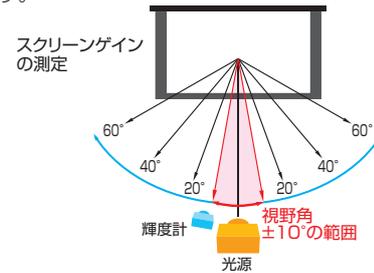
#### スクリーンゲインの比較



●ビューボード®は、特に視野角±10°程度の範囲でスクリーンゲインが大きい(=板面が明るい)ため、明るい部屋でも高い視認性が保てます。

#### スクリーンゲインとは

スクリーン面が任意の角度に対してどの程度の光を反射するか、反射特性を数値で示したものです。数値は標準板での反射特性に対する割合で表し、高い値の方が板面が明るくなるといえます。



## ■マグネットで さらなる有効活用!

### こどもの知育から オープン収納、ディスプレイにまで 壁面を有効活用!

ビューボードは鋼板のため、マグネットがくっきます。それを利用し、掲示ボードの枠を超え、知育にも、オープン収納にも、ディスプレイウォールとしても、使用用途の幅は広がっています(\*4)

キットパス×マグネットの組合せで店舗などのディスプレイウォールにも



●知育に



●オープン収納×ディスプレイに



ビューボード®×キットパス®×マグネットで壁面アート(JAPANSHOP2015)

マグネットにくっつく、デコレーショングッズの詳細については下記をご覧ください。

ヘヤデコ(ニチレイマグネット社)

URL: <https://www.heyadeco.com/>

(注意)

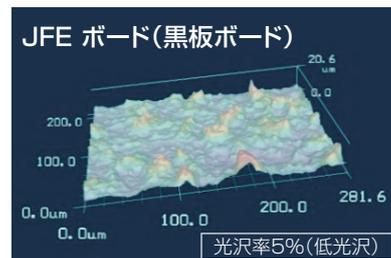
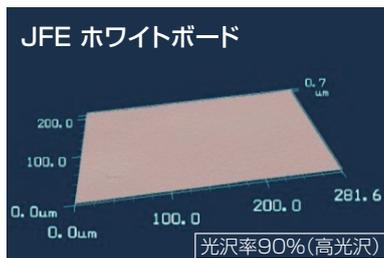
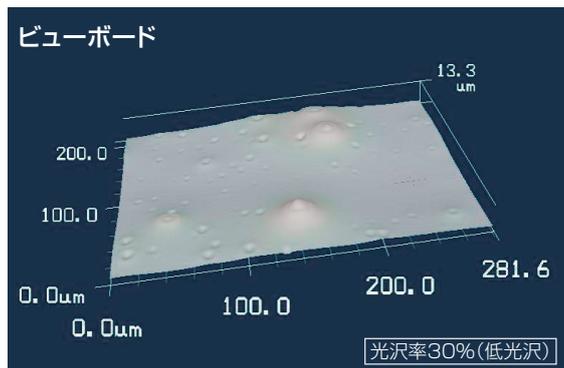
ネオジウム磁石等の強力なマグネットは、取り外す際に大きな力がかかり、ボード面が疵付く場合がありますので、ご注意ください。

(\*3)スクリーンメーカーのグラフより転記

(\*4)耐荷重は、さまざまな条件により変わるため、マグネットの設置時は安全を確認しながらお使いください。また、ビューボードを強力なマグネットで強く引っ張ると、製品が浮き上がることがあります。

## Q. ホワイトボードや黒板とのちがいは?

A. ビューボードは光沢率と表面の滑らかさを調整した結果、キットパスでの描画（書き消し）と映写性に適しています。また黒板よりも凹凸が滑らかで筆記具の滑りや消去の感覚がよく、ホワイトボードよりも低光沢でマットな質感です。



## Q. 直射日光に対する板面の影響は?

A. 塗膜に紫外線(UV)硬化塗料を使用していますので、長期に渡り強い紫外線を受けると、塗膜が劣化していくことがあります。強く紫外線のあたる場所(屋外、直射日光が射す屋内など)でのご使用は、お避けください。

一般的な黒板と比較すると光沢が高く、日光などに反射しやすいため、窓面付近に設置する等で気になる際は、カーテンなどでご対応ください。



### ⚠ 取扱における安全上の注意事項

- ビューボードが貼られた下地にマグネットを使用している場合には、磁気の影響を受ける恐れのあるものは近づけないでください。
- 壁貼りされたビューボードの突付部分に大きな浮き上がりが生じた際は、専門業者に連絡し、補修を行ってください。思わぬケガの恐れがありますので、浮き上りの箇所に指などを入れないでください。
- 製品の上にマグネットを貼りつけたときに、条件によりマグネットが落下する恐れがありますので、使用時はご注意ください。



# JFE 鋼板 株式会社

JFE

<https://www.jfe-kouhan.co.jp>

### お客様へのご注意とお願い

- 本書に記載された特性値等の技術情報は、規格値を除き何ら保証を意味するものではありません。
- 本書記載の製品は、使用目的・使用条件等によっては記載した内容と異なる性能・性質をしますことがあります。
- 本書記載の技術情報を誤って使用したこと等により発生した損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※デザイン・仕様は予告なく変更することがあります。 ※写真の色調は、印刷のため実物と多少異なります。